

中学生向け図書館だより よんじゃお！
Yonjyao


臨時号
2015年

2015. 11. 20発行

Yonjyao (よんじゃお) の臨時号をお届けします。
今回は、ビブリオバトル特集です。お楽しみに！！

「ビブリオバトル」とは

「ビブリオ」とは、本という意味で、
「バトル」とは、戦いという意味です。
つまり、本を紹介しあって、その中からオーディエンスの投票でチャンプ本を決めるゲームです。



「ビブリオバトル」公式ルール



- ① 参加者が、読んでおもしろいと思った本を持って集まる
(読み物に限らず、絵本・図鑑・マンガでもよい)
- ② 順番に、一人5分間で本を紹介する。
- ③ それぞれの発表の後に、参加者全員で、その発表に関するディスカッションを2～3分行う。
- ④ すべての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員1票で行い、最多票を集めたものを「チャンプ本」とする。

女満別中学校でのビブリオバトルの様子

昨年より女満別中学校では、図書委員会が、中心となってビブリオバトルを行っています。

公式ルールとは、ちょっと違いますが、お昼休みの何日間かに分けて行います。

第1回は、昨年の6月です。先生方も参加して大変な盛り上がりを見せました。

12名が出場し、決勝戦には「がんばることをやめる9つの法則」を紹介した黒沢先生、「ミッケ！」を紹介した3B 大江奈生さん、「小さなおじさん」を紹介した3A 岡田真樹くんの三人が残り、岡田くんが優勝しました。



黒沢先生



大江さん



たくさんのオーディエンス



優勝した岡田くん



惜しくも1回戦で敗れた
谷川理久くん

第2回は、昨年9月に9名が出場し、決勝戦には「名のないシシャ」を紹介した3A 岡田真樹くん、「そして父になる」を紹介した2A 川村健人くん、「殺し屋ですよ」を紹介した河田先生が対決し、岡田真樹くんが2連覇を果たしました。

3回目の決勝戦は、「図書館戦争」を紹介した松田光稀くんと「スイッチをおすとき」を紹介した斎藤みなみさんの同級生対決となり、松田光稀くんが初優勝しました。



図書室は満員です

今年の第1回の出場者は、5人とちょっと少なかったですが、オーディエンスは多く図書室は超満員でした。

7月2日に決勝戦が行われ、「レインツリーの国」を紹介した松田光稀さんと「リアル鬼ごっこ」を紹介した斎藤みなみさんが、前回と同じ顔合わせで対戦しました。

その結果、前回の雪辱を果たし斎藤みなみさんが優勝しました。



本を紹介する松田くん



本を紹介する斎藤さん



1年生も集まって
くれました

第2回の決勝戦は、「名のないシシャ」を紹介した川村健人さんと「獣の奏者」を紹介した松田光稀くんが戦い、松田光稀くんが優勝しました。



3回目決勝戦出場の
松田くん



見学者のみなさん

「ヒブリオバトル」を経験していない人もぜひ挑戦してみてください。



先生方もビブリアバトルを行いました。



9月29日の研修会で町内の先生方もビブリアバトルを経験しました。

公式ルールに沿って実施し、5分間、本を紹介した後、3分間のディスカッションを行いました。

女中の長谷川先生は「おにいちゃんがいるからね」を紹介、東中の松島先生は「やさしい人物画」を紹介しました。



研修で本を紹介する長谷川先生（左側）



松島先生（中央）

**「ビブリアバトル」を経験していないアナタもやってみたら
きっと「ビブリアバトル」にハマるはず！！
見ているより出場したほうがもっと楽しいと思います。
次回はアナタも出場してみよう！！**



図書館の休館日

女満別・毎週月曜、祝日、第4金曜

東藻琴・毎週日曜、祝日、第4金曜